

図4

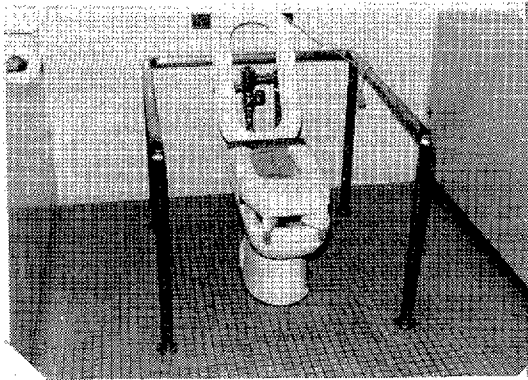
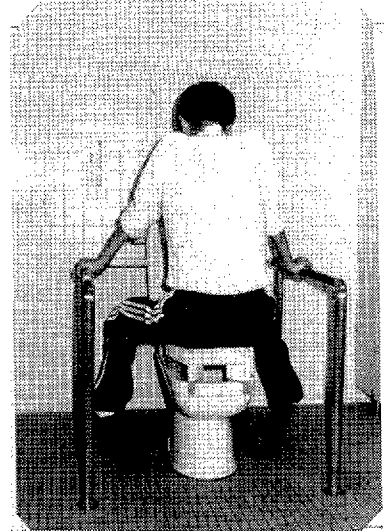


図5



10.筋ジストロフィー患者に 適した作業台及び自助具の工夫

国立療養所西多賀病院

門 間 勝 弥 五十嵐 俊 光

我々は前回当院試作による調節式作業台を用い作業台の高さについて検討し報告した。そこで今回は比較的重度なステージ（ステージ7以上）を対象として上肢の重さの軽減をはかり、簡単な机上作業を実施し検討したので報告する。

〔研究対象〕

入院中のD型PMDの中からステージ7、3例ステージ8、4例計7例を選び対象とした。

〔研究方法〕

以下の3通りの方法で線引き作業、および、パチンコ玉移し作業を実施しそれらの作業に要した時間を測定記録し作業効率について検討した。尚、線引き作業はB4判の白紙に長さ30cmの平行な直線3本をひかせその所要時間を測定記録した。また、パチンコ玉移し作業については直径

5 cmの吸盤付皿を2個、パチンコ玉10個を用意し作業台中央より右方へ10cm間隔で30cmまで、および、作業台中央より前方へ10cm間隔で30cmまでそれぞれパチンコ玉を移させその時間を測定記録した。

方法1. 両上肢下垂位で肘頭より上方5 cmの高さに作業台をセットし何等の装置も用いずに上記の作業を行わせその時間を測定記録した。

方法2. 事務用スチール製回転椅子に患者を反対向きに坐らせ躯幹前面を椅子の背あてで支持し上肢を躯幹前面で下垂位とし上肢の重さの軽度をはかり上記の作業を行わせその作業時間を記録した。

方法3. 作業台の高さを方法1と同様にセットし上肢の重さを軽減するための装置を用い上記の作業を行わせその作業時間を記録した。(以下上肢自重軽減装置という)この装置はアルミ板で前腕受けをカフ状につくり皮、および、フェルトで包みカフの下面にB、X型ボールキャスターを4個取り付け付けたものである。尚、症例の肩甲帯、および、肘関節の周囲筋の筋力は全て25%以下であった。

結果1. 線引き作業について

方法1、方法3で比較してみるとステージ7では有意差はみられないがステージ8では方法1で15秒、方法3で9秒と上肢自重軽減装置を用いての作業が明らかに効率的であった。

結果2. パチンコ玉移し作業について

3つの方法によるパチンコ玉移し作業に要した作業時間を比較してみると移動距離10cmでは各ステージ共に方法1が最もよく移動距離が長くなるにつれて上肢自重軽減装置を使用した方法2での作業効率が最もよく、方法3では50秒以上と可成りの作業時間を要している。

〔考 察〕

以上の結果から、重度PMD患者の机上作業では、①上肢の動作範囲が少い作業にあっては前腕より遠位の筋群が比較的温存されているため上肢の重さを机上で支持することによって種々の作業は充分可能であると考えられる。②これに対して上肢の動作範囲が大きくなるような作業や手部を空間で保持して行なわれる作業にあっては上肢自重軽減装置のようなものを用いて上肢の重さを除去、または軽減される必要があると考える。③また上肢下垂位で上肢の重さを除去したかたちでの作業は肩周囲筋の筋力が少くとも25%以上の症例でなければかえって作業効率を悪くしてしまうため重度PMDには不適當と考える。

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

我々は前回当院試作による調節式作業台を用い作業台の高さについて検討し報告した。そこで今回は比較的重度なステージ(ステージ7以上)を対象として上肢の重さの軽減をはかり、簡単な机上作業を実施し検討したので報告する。